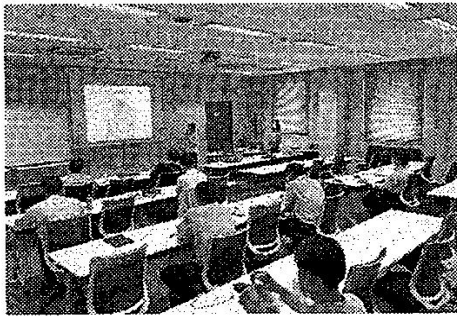


創造力強化へ講習を実施

研究員の心理的安全性確保

大成ロテック

大成ロテックは10日、埼玉県鴻巣市の技術研究所



で、研究員の創造力を高めるための講習を実施した。写真。コロナ禍にある現状のような急激に変化する環境下においても心理的安全性を確保する方法を学ぶことで、今まで以上に研究員ら職員一人ひとりが生産性を高め、よりクリエイティブな発想がでるようになることを狙

した。

講師には、創造力育成の専門家である教育学博士で選択理論心理士の星野優美子氏を招聘。講義では、心理的安全性を高めることで年齢を問わず生産性と独創性が向上するといったこれまでの研究成果を踏まえ、実績紹介とともにその具体的方法を分かりやすく紹介した。

さらに、独創性を認識できる遊びを仕掛けるなど、聴講者参加型の講義により、聴講した研究員は「大人の学び」における集中力を高める工夫も体験した。

講義会場は、コロナウイルス感染への安全性を高めるため、全員、手のアルコール消毒とマスク着用を行い、換気を徹底した講義を開催した。自社研

修センターの会議室は、収容人数を3分の1以下とし、さらに聴講用のリモート会場は収容人数を2分の1以下とし、3密の回避にも留意した。

講習会の冒頭、島崎勝技術研究所長は「これからのニューノーマルは、良質な人間関係と信頼できる感染対策の両立によって本当の心理的安全性が確保できる。よりクリエイティブな発想ができるように今後も心理的安全性を高めていきたい」と語った。